

8 月 18 日：農業関連株の下落を受けて、マーケットは弱い値動き

木曜日の株式市場は、強い売り圧力が指数を押し下げた。

午前中は、上値の限られた膠着した動きであったが、午後に入ると安定的に伸び続け、14 時頃にピークを迎えた後、元値近辺まで戻した。その後 14 時 15 分頃になると再び上昇し、ピークであった 14 時頃の水準の半分程度まで戻す動きも見られた。

しかし立ち合い終了数分前で、突然同指数は急降下し、前日比-0.13%の 1,273.66 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン証券取引所では、243 銘柄が下落し（うち 2 銘柄がストップ安）、94 銘柄（3 銘柄がストップ高）が上昇した。

木曜日のホーチミン市場は、約 14 兆ドン（6 億米ドル）に相当する 5 億 5,800 万株が取引され、活況であった。

VN30 指数も VN 指数と同様の動きで推移したが、下げ幅はわずかだった。

下落幅はわずか 0.04%に留まり、同指数組み入れ銘柄についても、11 銘柄が上昇する一方で 15 銘柄が下落、4 銘柄は横ばいとまちまちであった。

最も相場の重荷となったのは、1.54%下げたノブランド（NVL）で、弱気トレンドを背景に BIDV(BID)、ヴィエティンバンク（CTG）、ベカメックス IDC（BCM）、ビンホームズ（VHM）などが売られた。

農業関連セクターは-1.76%の落ち込みを見せ、マーケットを下押しした主因となった。

同セクターでは、ホアン・アイン・ザライ国際農業（HNG）が 2.68%下落、続いてホアン・アイン・ザライ（HAG）、サオマイグループ（ASM）が下落した。

次に弱かった業種は電子機器セクターで、ジェレックスグループ（GEX）とサコム開発投資（SAM）がそれぞれ下げた。しかしランドン電球・魔法瓶（RAL）は+0.3%とわずかに持ちこたえた。

ビンググループ (VIC) 、ビンコムリテール (VRE) 、ビンホームズ (VHM) のビンググループ関連銘柄は、まちまちの結果となった。ビンググループ (VIC) は 1.19%、ビンコムリテール (VRE) は 0.34%上昇したが、ビンホームズ (VHM) は 0.33%下落した。

不動産セクター全体では 0.51%の下落となった。

「不動産会社は、政府の与信枠制限と社債市場の暗い見通しから圧力を受けている。」と、ある専門家はいう。

銀行セクターも同じく軟調であった。主な値下がり銘柄は、BIDV (BID) 、ヴィエティンバンク (CTG) 、テクコムバンク (TCB) 、VP バンク (VPB) が含まれた。約 4 銘柄が上昇したが、下落銘柄数の方がそれを上回り、セクター全体で 0.36%の下落となった。

HNX 指数は-0.46%の 301.19 ポイントで取引を終えた。

海外投資家は、ホーチミン、ハノイの両取引所で合わせて約 1,347 億 4,000 万ドン相当の株式買付け、市場に資金を投入した。このうち、ホーチミンでは 1,205 億 6,000 万ドン、ハノイでは 141 億 8,000 万ドンの買い越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。